

# じんだい

第40号

2015.4.21

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151  
URL [www.kichijoji-hospital.com](http://www.kichijoji-hospital.com)



## 基本理念

患者様やご家族の側に立った医療  
患者様の社会復帰を目指す医療  
全職員相互の力を発揮できる医療



桜とB棟

## contents

吉祥寺病院事務長に就任いたしました。……………	1
研修報告 平成 26 年度院内合同研究発表会で感じたこと ……	2
職場紹介（地域移行推進室）……………	4
新人コーナー／平成 27 年度 吉祥寺病院行事予定 ……	5
当院のおすすめメニュー……………	6
外来担当表／当院略図／編集後記……………	7

## 吉祥寺病院事務長に就任いたしました。

事務長 根岸 麻矢

平成27年4月1日事務長としての就任は吉祥寺病院に入職して23年目の珍事(?)いえ私にとっては奇跡でございます。

新しい事務長が就任することは珍しくないのですが、この私が就任したことがポイントなのです。

私にとっての奇跡は二つ。

一つ目は、開院してから現在まで新人の常勤職員で入職し、部長職に就任したのは私が初めてなんです。

つまり吉祥寺病院で純粹培養された私の、これまで学んできた歴史がそのまま私の職業人としての在り方になっているということです。

さらに二つ目は、異業種であること。私は精神科ソーシャルワーカーとして入職し国家資格が出来た後、精神保健福祉士として医療相談室に在籍しておりました。昨年9月に異動があり事務次長に就任後、今回の拜命となったわけです。異業種というのももちろん初めてです。

何故?と思われるかもしれません。しかしお忘れでしょうか?

吉祥寺病院はチーム医療を強化している病院です。

チーム医療は、多職種がチームを組んでそれぞれの専門分野の知識と経験をもとに、患者さんやご家族と共に治療や支援を展開します。しかしチーム医療はそれだけではありません。

連携するための役割をチームメンバーそれぞれが担います。その役割は専門分野にこだわらないものでなくてはなりません。たとえば患者さんを取り巻く役割分担で専門的な役割の他に、医師が相談窓口となり、看護師が各地域事業所との調整役、精神保健福祉士と作業療法士が訪問看護へ行く…なんてことも起こったりするのがチームなのです。チーム医療は、それぞれの強みを活かしながら患者さんにとって一番良い形で、時には役割を交代しながら行われるものです。

当院では病棟でも展開されていますが、一番わかりやすいのが地域生活支援室の存在になります。この部署には看護師・作業療法士・精神保健福祉士の多職種が在籍し、医師と共に地域生活を営んでいる患者さんの支援をチームで行っています。ちなみに精神保健福祉士とは、医療者と患者さん家族や一般社会との懸け橋になること、調整役になることが専門性の一つになっています。

さて、ここまでお話して来たことでお分かりでしょうが、吉祥寺病院が精神保健福祉士である私を事務長にすることに何の躊躇がありましたでしょうか。

私個人にとっては奇跡的なできごとではあります。病院にとってはチーム医療を経営面にも応用されただけのこと。病院経営も多職種で行われているのですから、まさに病院全体でチーム医療を形にしているということなのです。

…といっても、私は一般企業で働いた経験はアルバイト以外ございません。もちろん医療従事者の中では経験のないかたの方が多いと思います。

事務部は病院内で唯一、一般企業の側面を持っています。病院ならではの医事もありますが、経理・庶務・設備・人事など一般の企業と同じです。働いている職員は皆、企業のそれと同じ価値観を持ち業務をこなしています。病院自体の経営管理があって始めて、医療の質を向上させる努力が可能になるのですから、事務部門が病院の屋台骨といってもよいのではないのでしょうか。家が倒れないためのしっかりとした強い基礎固めと、家をより大きなものにしていくことが我々の求められている任務なのです。

私は事務部に入り、医療者と共に医療の質向上を目指しながらも、事務部の職員と共に安定した経営を維持することが使命となります。

理念と基本方針を基盤に、形を変えながら進化していく吉祥寺病院をこれからもどうぞよろしく願いいたします。

## 研修報告

### 平成26年度院内合同研究発表会で感じたこと

医局長 森 健之

去る2月18日に院内合同研究発表会が開催されました。4題の研究発表と1題の実践報告があり、活発な討論が交わされました。私は総評を担当させて頂きましたので、その様子を振り返りつつ、感じたことを綴らせて頂きたいと思えます。

「統合失調症に日本一強い病院」になることをビジョンとして掲げている吉祥寺病院ですが、その高い目標について、遙か山頂を仰ぎ見るようにしていた段階から一歩進み、達成のための具体的な道筋や戦略を検討できる段階に入りつつあるという思いを抱きました。以下、各演題について振り返ります。

河岸看護師長からは、「院内 SST 研修会で得た知識や技術の効果 - SST が現場で活かされているか-」についての研究発表がありました。吉祥寺病院は、日本の精神科医療に SST が導入された当初から、SST の実践に取り組んできました。スタッフを対象とした SST 研修会が定期的開催されるようになってからも10年が経っています。研修で得られたものが実際の診療の現場で活かされているかについて、院内全職員を対象にしたアンケート調査によって検討し、今後の研修を展開する上での課題について分析が行われました。結果、職員における SST の認知度は高められて来ているけれども、具体的な臨床場面での活用のために、さらなる研修の工夫が必要であることがわかりまし

た。実際の臨床場面で「SST が役に立った！」という体験を重ねていくことが、診療に SST を浸透させ、有効な治療効果を上げていくために必要なのかもしれません。

本橋看護師からは、「グループで行う口腔ケアの効果について」の研究発表がありました。長期入院中の統合失調症患者様5名を対象に、4ヶ月間にわたり毎日、決まった時間にグループで歯みがきを行う介入を実施し、患者様の歯みがき習慣や歯みがきに対する意識がどのように変化するかを調べました。2名の患者様は、定期的な歯みがき習慣が身につく、歯みがきに対する意識も向上していました。ただ、グループのメンバー間の一体感や相乗作用は今回有効に生じていたとはいえ、この点が今後の課題となりました。構造化した介入は有効であったけれども、グループが力を発揮するための条件をさらに模索していく必要があります。SST のグループ活動から、そのヒントが得られるかもしれません。

高石主任看護師からは、「地域生活者の『健康』に対する意識調査」の研究発表がありました。地域で生活している当院の患者様を対象にアンケート調査を行い、健康に気をつけていることはあるか、誕生日検診を受けているかなどの聞き取りを行いました。回答された患者様の大半が、「健康」について気になることがあり、気をつけていることがあると答えました。検診

については、作業所通所の方の受診率が高く、40歳未満の方の受診率が低いことがわかりました。生活習慣病の予防や適切な治療は、当院の患者様にとっても重要な課題です。患者様に適切な知識や習慣を身につけて頂き、適切な頻度で検査を受けて頂くことが必要であり、そのために、病院を挙げて組織的に取り組むことの重要性をあらためて感じました。

赤石看護師からは、実践報告として、「デイケアの紹介」がありました。吉祥寺病院のデイケアは、国内で先陣を切って導入され、長く実践を重ねてきています。外来通院している患者様のリハビリテーションの場として、ひとりひとりの目標に向けて、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士の多職種チームで患者様とともに取り組んでいます。患者様のさまざまなニーズに応えられるように、いくつかのグループを構成しています。就労準備のプログラムも実施しており、ハローワークにスタッフが同行したり、グループで職場見学したりといったことも行っています。入院中の患者様について、退院後を見越してのデイケア導入も積極的に行っています。興味のある方は是非主治医にご相談ください。

高木看護師長からは、「精神看護学実習における学生の体験内容と精神障害者へのイメージ変化」についての研究発表がありました。当院で実習を行った40名の看護学生を対象に、実習の前と後にアンケート調査を行い、精神障害者に対するイメージがどのように変化したか、その変化が実習でのどのような体験から来ているのかを検討しました。優しい、話しやすい、不気味ではない、といった項目の点数が、実習前後で大きく上昇していました。自由記載の意見でも、実際に患者様と接してみて、患者様の思いやりやユーモアを感じ、大きくイメージが変わったとの記載が多く見られました。学校側と連携して、実習前の学生の抱く不安やストレスに対処していく必要性が明らかになりました。よくわからない、イメージしにくいものは恐ろしく感じるのでしょうか。一般社会への精神科医療の啓発活動にも、病院として取り組んで行きたいものです。

今後も、倫理的な配慮を行いつつ活発な臨床研究を展開し、診療のレベルアップにつなげることで、患者様、ご家族への一層の貢献を目指して参りたいと思います。何卒宜しくお願いいたします。



## 職場紹介 第17回

## 地域移行推進室について

地域移行推進室 花立 幸代

今回は、地域移行推進室の紹介をさせていただきたいと思います。

地域移行推進室は、玄関を入り、待合の椅子のあるすぐ横にあります。

実際には、「地域生活支援室」の一部門として、訪問看護室の看護師、在宅支援室の作業療法士の、そして地域移行推進室の精神保健福祉士と、訪問看護を中心として、まさに、地域生活を支援しています。

地域移行という言葉が聞かれ始めたのは、2008年に、厚労省の施策として長期入院者の退院を促進することが強化されたことに始まりました。

退院促進という言葉の方が、馴染みがあるかと思いますが、地域移行は、5年以上の長期入院者に焦点が当てられました。そして、医師、看護師、保健師、作業療法士、精神保健福祉士の多職種の構成で「地域移行推進室」を設置することが条件とされました。

2008年当時、当院には120名程の5年以上の長期入院者の方がいました。そこで、まずは各病棟の対象者の方がどのような状況にあるのか、カンファレンスを行い、退院が可能なのかどうか話し合うことから始めました。退院先はある？、自分で洗濯はできる？薬は自己管理できる？食事は？経済的なことは？ご家族はどのように考えているのか、退院後に相談に乗ってくれる人は？

1つ1つ確認していきます。ここで、一番大切なことは、ご本人が退院したいかどうかです。

「退院したくない」と主張する方もいます。退院したくない理由は様々ですが、不安が大きいと思います。入院中とは違い、自分でやらなければならないことがあり、出来るなんてとても想像できないです。

そこで、ここも1つ1つ、一緒に考えていきます。自分一人で出来なくても、助けてくれる人がいれば解決できる、という事がわかると、段々退院できるのかなという気持ちが出てきます。実際に退院前には、退院先に外泊して、練習してみます。ここで、さらに自信をつけてもらいます。と、さらっと、書きましたが、簡単にはいかないこともあります。

不安がさらに高まってしまったり、頑張りすぎて疲れてしまい、再入院されたり・・・。

しかし、ここで終わりではなく、いったん休んで調整して、また、自宅へと退院していく支援を考えていきます。

今年度は、退院した方を病棟に招いて、退院後の生活を話して頂くという取り組みをしました。入院中の方からは、食事はどうしていますか？生活費はいくらかかりますか？などの質問が投げかけられました。私たちも退院への意欲の高さを実感させられたものとなりました。

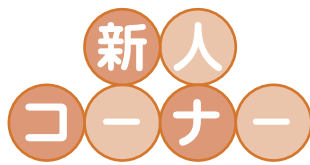
最後になりましたが、地域移行推進室では月に1回委員会を開催して、退院支援の状況を確認しています。退院支援を実際に行う病棟の職員から、退院後の生活支援を支える地域生活支援室へ、1人でも多くの方が地域移行できるように、支援を続けていきたいと思っています。

小◆ ◆◆ (A4病棟 看護師)

- ①大阪府大阪市
- ②病院がキレイでスタッフ皆がきちんと挨拶をする印象
- ③色んな人との出会いを大切にすること
- ④グミを食べること

小◆◆ ◆ (B1病棟 看護師)

- ①静岡県
- ②アットホームで温かい雰囲気
- ③笑顔
- ④映画鑑賞



- ①出身地
- ②吉祥寺病院の第一印象
- ③私のモットー
- ④最近ハマっていること

濱◆ ◆◆ (B2病棟 看護師)

- ①鹿児島県
- ②東京のわりに緑が多い
- ③休まず仕事に来る
- ④旅行の計画を立てる事

平成27年度 吉祥寺病院行事予定

* 4月 行事関係	* 5月 行事関係	* 6月 行事関係
1日(水) 新採用者オリエンテーション	9日(土) ファミリーサポートセミナー	4日(木) レク(ピクニック)
2日(木) 新採用者オリエンテーション	16日(土) 家族会	6日(土) 喫茶カトレア
3日(金) レク(花見)	27日(水) 東精協レク (ミニオリエンテーリング)	13日(土) ファミリーサポートセミナー
4日(土) 喫茶カトレア		20日(土) 家族会
11日(土) ファミリーサポートセミナー	研修関係(予定)	25日(木) 東精協レク(卓球大会)
11日(土) 受水槽年次清掃・点検	看護研究①	27日(土) 家族教室
12日(日) 高架水槽・貯湯槽年次清掃・点検	看護研修 (プリセプター②、プリセプティィ②)	研修関係(予定)
18日(土) 家族会	看護研修(CVPPP)	看護研修 (新採用者薬物療法 前期)
30日(木) 防災訓練(夜間想定)	看護研修(新採用者 医療安全)	看護研修(2年目施設見学)
	看護研修(実践 地域との連携)	看護研修(実践研修記録①-1)
	看護研修(3年目①)	院内教育研修(AED)
研修関係(予定)		看護研修 (新採用者コミュニケーション①)
看護研修 (看護研究オリエンテーション)		看護研修 (新採用者注射の知識と技術 前期)
看護研修(プリセプティィ①)		看護研修 (プリセプター③、プリセプティィ③)
院内教育研修(新採用者 防災)		

〈当院のおすすめメニュー〉

# ポテトサラダ

当院ではポテトサラダにハムとサラダ菜を飾って盛り合わせサラダとして提供しています



～1人分栄養成分～  
エネルギー 210kcal  
塩分 1.5g

### \*材料\* (2人分)

- じゃが芋 1個 (中くらいの大きさ)
- 人参 1/6本
- きゅうり 1/4本

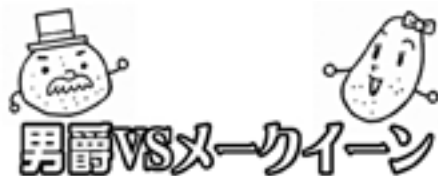
### 調味料 A

- マヨネーズ 大さじ2杯
- 塩 ひとつまみ
- こしょう ひとつまみ

- サラダ菜 4枚
- ロースハム 4枚

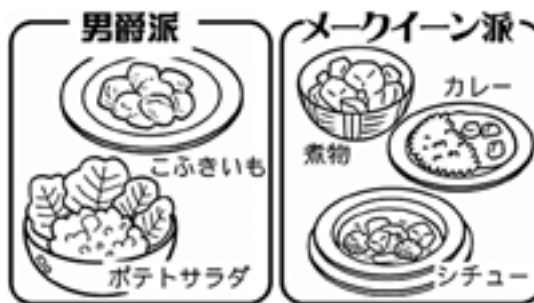
### ●作り方●

- ①じゃが芋はラップに包んで電子レンジ(600w)で6分加熱し、熱いうちに皮をむいて木べらでつぶす
- ②人参は薄めのいちょう切りして、茹でる
- ③きゅうりは薄い輪切りにする
- ④つぶしたじゃが芋と人参・きゅうりと調味料 **A** を合わせる
- ⑤お皿にサラダ菜とハムを飾り、ポテトサラダを盛り付けてできあがり



## 男爵VSメークイーン どっちの料理にお似合い?

男爵いもは、ほくほくした食感があり、メークイーンは煮くずれしにくいのが特徴です。料理によって、じゃがいもを使いわけましょう。



## 外 来 担 当 表

	月	火	水	木	金	土
診察室(1)	原藤	院長	原藤	小木	原藤	原藤 / 水落
診察室(2)	市川	市川	岡田	市川	市川	亀山
診察室(3)	田澤	西岡	西岡	田澤	西岡	西岡
診察室(4)	森 / 森 (栄)	岡田 / 齋藤	森 / 森 (栄)	齊藤	森	森
診察室(5)	周東 / 松井	山室 / 松井	山室 / 松尾	浅野 / 山室	周東	松井 / 山室
診察室(6)	土井	土井	西山	セカンドオピニオン 土井	岡田 / 土井	西山

— 受付時間 —

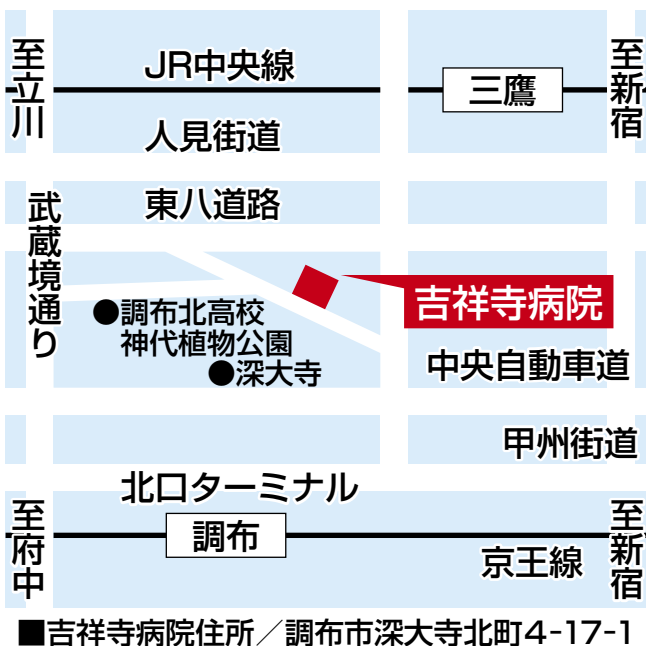
月 - 金

午前 9時～11時 (初診・再診)

午後 1時～3時 (初診)

土

午前 9時～11時



〈編集後記〉

お読みになられる頃には暖かい季節となっていますでしょうか。毎年言われているような気はしますが、今年も花粉が多いとの事です。しっかり対策をとり、お気をつけ下さい。  
(K.U)

桜が咲く時期は何か新しく始まる、と感じさせられます。桜は何かと騒がれますが、足元を見ると、人知れずしっかりと花を咲かせている雑草もあります。踏まれても踏まれても。でも、それを見てくれる人もいます。地道に、一步一步進めば、それを見ていてくれる人は必ずいると信じています。遅咲きの花を見てくれる人も必ずいると信じて・・・。  
(T.O)